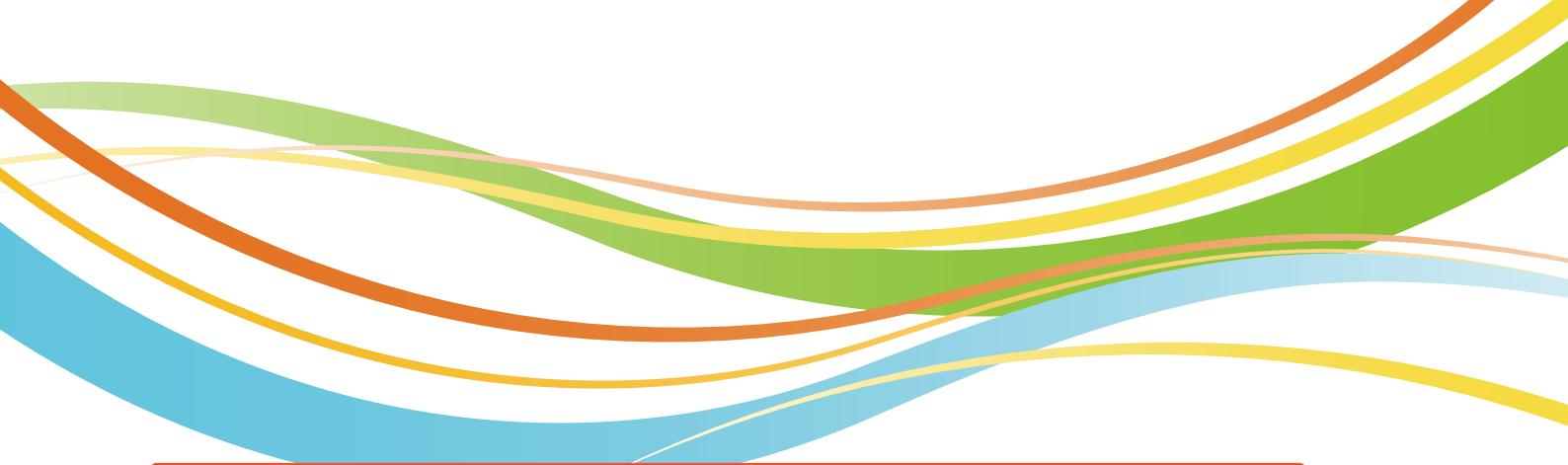


福井県 留学生 だより 2021

福井県留学生交流推進協議会





巻頭言

1

「海を渡って 一あなたの留学が世界の平和に繋がりますようにー」

福井工業高等専門学校長 田村 隆弘

留学生の声

2

「福井は私の青春！」 福井工業大学 LE THI NGOC TU (ベトナム)

「福井で、福はいい」 福井大学大学院 ROSERO MICHAEL WILSON ISAAC (フィリピン共和国)

交流活動

4

公益財団法人福井県グローバル人材基金

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

活動スナップ

地域交流状況

寄稿

9

「福井県国際交流協会の取組みについて」

公益財団法人福井県国際交流協会 理事長

八木 誠一郎

留学生交流推進協議会

10

福井県留学生交流推進協議会の活動

福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

留学生関係資料

12

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

海を渡って —あなたの留学が世界の平和に繋がりますように—

福井工業高等専門学校長 田村 隆弘



巻頭言

留学生の声

交流活動

寄稿

推進協議会

留学生関係資料

間部詮勝（まなべあきかつ）という人をご存知ですか。福井県鯖江市に西山公園という美しい公園があります。今から200年前に、鯖江領主となった彼が領民の憩いの場として造った公園（当初は嚮陽渓）です。彼は江戸幕府でも重要な役割を果たしますが、その公園に「泰平の眠りを覚ます 上喜撰（じょうきせん） たつた四杯（しはい）で 夜も寝られず」と彼が読んだ句碑が建っています。日本が外国との交流に厳しい制限を設けていた当時、4隻のアメリカ軍艦（黒船と呼ばれた）が「もっと自由に貿易が出来るよう国を開くように」と威嚇し、日本中が震撼した様子を、上喜撰というお茶を飲むと眠れなくなることに重ねてユニークに表現しています。

では、もう一人、同じ時代に生きた吉田松陰（よしだしょいん）という人をご存知でしょうか。詮勝とも縁のある人ですが、彼もまた、この巨大な黒船を目の当たりにして驚愕します。しかし、彼は日本が近代化を進めるためには、海の向こうにある諸外国のことをもっと知らなければならぬと熱烈に思い、命がけで行動し、そして、その後の日本を動かす多くの若者を育てた人です。

日本は島国です。留学生の皆さんのが海を渡って来日したように、日本人にとって国境を越えると言うことは、海を渡るという言葉になります。

松陰は、荒波の中、小さな櫓こぎの木造船を巨大な鋼鉄の軍艦に寄せて忍び込み、船長に対して「自分をアメリカへ連れていって欲しい。」と求めます。もちろん英語は話せないので、必死のボディーランゲージです。残念ながら、夢叶わず追い返されてしまいますが、一つ間違えば、いや、手順からすれば十分に間違っていますので、不法侵入者として殺されても仕方のないところでしょう。そのようなリスクを犯しても、彼は外国に行きたかったのです。何故でしょうか。何が、彼にそのような行動をさせたのでしょうか。彼が忍び込んだ外国船の船長は、思わず彼に「What brings you here?」と尋ねたかどうかは、知る術もありませんが、皆さんは、どう思いますか。

今の世界は、先に述べた詮勝や松陰の時代とは全く比較にならないほど豊かになりました。情報技術や交通手段も著しく進化して、まさに地球全体でグローバル社会の形成が加速しています。（新型コロナウイルスがまん延したことは、グローバル社会の一つの不都合な真実ですが。）

しかし、残念ながら、今でも世界の一部の地域や国では、宗教的な問題やお互いの価値観が理解できなかったために紛争が起き、人々が平和に過ごせない状態にあります。また、

今なお新型の武器や兵器が開発されているのも事実です。

留学生の皆さんの留学の目的は何でしょうか。皆さんの夢の向こうには何がありますか。日本の技術を学んで、自らの国を豊かにしたいと考えている方もおられるのかと思います。これは、松陰と同じ志と言えるでしょう。確かに最新の知識や技術は人々の生活を豊かにします。皆さんが日本で身につけた力を発揮して、祖国を豊かにすることは大切なことです。しかし、目的がそれだけであれば留学する必要はないかも知れません。今の時代は、松陰が生きた時代と違って、知識や情報を得るための手段は様々あります。

私は、留学には知識や技術を学ぶだけでなく、もっと大きな意味があると思います。それは、留学という出会いは人々が平和に生きるために必要な「お互いの社会や価値観を理解する感性」を育む機会であるということです。もちろん、これは留学して来る人、迎える人の双方にとって貴重な機会であるという意味です。

異なる境遇に育って異なる価値観を持った人が出会ったとき、相手の文化や価値をリスペクトする、そうした感性を持った人は、国と国や、民族間の摩擦を平和的に解決しようとなります。逆に、そのような感性を持っていない人同士が、課題に直面したときには、平和的な解決手法を見いだすことができないでしょう。

現在、地球上では確かに温暖化が進んでいます。原因は、人類が豊かさを求めて身勝手に環境を破壊してきた結果であると反省して、世界規模で対策が検討されています。国連の気候変動枠組条約締約国会議（COP）でも、二酸化炭素を削減しなくてはいけないことは合意できています。しかし、いざ、実際に行動に移す段になると先進国、発展途上国共に各国の思惑が交錯しています。

一つの幸せは多くの不幸せに支えられているかも知れません。幸せの裏側に隠れているかも知れない不幸な現実を、見極める力が必要なのです。どうか、この留学を知識や技術を得るだけでなく、豊かな感性を身につける機会として活かして下さい。そして、あなたが社会で活躍する人になったとき、ぜひ、周りの人々に、あなたが海を越えて学んだことを伝えて下さい。

“Let's make a more peaceful world together!”

福井は私の青春！

福井工業大学 経営情報学部 経営情報学科 経営システムコース 4年
LE THI NGOC TU (ベトナム)



ベトナムの高校に通っていたころ、私は、卒業したら母国の大に進学することが当たり前だと考えていました。ところが、3年生の夏休みの前日、高校の先生に紹介された日本留学の進学説明会に参加したこと、日本という国に強い興味を持つようになりました。特に、日本の高い経済力や日本人の真面目さに感銘を受け、説明会を終えたときには「どうしても日本に留学したい！」という気持ちに変わっていたのです。

高校を卒業して日本に初めて来たときの私は、日本語能力試験 N5 しか持っておらず、漢字も日常会話也非常に苦労しましたが、せっかく憧れの日本に来たのだからたくさんの日本人と話したい、日本人の友達をいっぱい作りたいという気持ちの方が強く、東京の日本語学校に通いながら必死で日本語を勉強しました。日本語学校の先生や日本人のバイト仲間も、そんな私をいつも「がんばれ！」と応援し、支えてくれました。

念願の福井工業大学経営情報学部経営情報学科に合格し、早や4年が経とうとしています。福井を選んだ理由は、東京にいるときに「幸福度日本一」の県だと知ったからです。憧れの日本で、幸福度が日本一の県に住んでみたいと考えたのです。賑やかな東京から福井に初めて来たときは、想像していた以上の田舎で、一瞬、落ち込みました。しかし、入学してすぐに先輩留学生や国際交流課の職員・先生方が盛大な歓迎会を開いてくださり、私生活の面倒まで親切に見てくださったので、大学生活には早く慣れることができました。また、新しいバイト先でたくさんの日本人や他国の留学生の友達ができ、いつの間にか福井が大好きになりました。

大学時代に楽しい思い出をいっぱい作りたかった私は、2年生のときに福井工業大学インターナショナルクラブに所属し、先輩留学生たちとクリスマス会などのイベントを企画・開催する活動を始めました。その中でも特に印象に残っているのが、若狭町で開催されたみさき祭りです。私は、母国ベトナムを紹介するコーナーを担当し、地元の方たちに写真を使ってベトナムの有名な観光地や食べ物について説明しました。地域のお祭りなので幅広い年齢層の方が来場され、初めて対面する方も笑顔で気軽に話し掛けてくださるなど、本当に福井に来て良かったと感じられる時間でした。

また、3年生のときには、若狭町から依頼された観光資源発掘のためのフィールドワークに参加しました。インターナショナルクラブのメンバーと一緒にレインボーラインや三方五湖を回ったり、初めて魚釣りを体験し、

自分たちで釣った魚をさばいて握り寿司を作ったりしました。このほか、早朝から漁船に同乗して大敷網（おおしきあみ）の体験や若狭三方縄文博物館・福井県年縄博物館、熊川宿、瓜割の滝などを回り、若狭町の魅力を発掘するとともに、外国人観光客の目線で様々な課題を抽出し、若狭町長に直接提言する経験を得ました。

こうした課外活動に参加しながら勉強も頑張り、4年生からはJASSOの奨学金を受けることができました。今まで生活費と学費のためにアルバイトしていた時間を減らして就職活動や卒業研究に集中することができたことは、ラッキーでした。

今振り返ってみると、18歳でベトナムの家族のもとを離れ苦しいことや悲しいことも多かったですが、自分自身の努力と周りの人の助けによって大きく成長できたと思っています。日本に来て、たくさんの人と出会い、たくさんのことを学び、たくさんのことを経験しました。大学卒業後は福井県内の企業に就職しますが、これからもOB・OG交流会などにできるだけ参加し、福井工業大学と関わりを持ち続けていきたいと考えています。福井は私の青春です！



福井で、福はいい

福井大学大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科

教職開発専攻学校改革マネジメントコース 2年

ROSERO MICHAEL WILSON ISAAC (フィリピン共和国)



私が初めて日本に足を踏み入れてから2年が経った。夢にも思わなかったこの特権に、私は永遠に感謝することになる。

おそらく多くの外国人と同じように、私も「アニメ」として一般に知られている日本のアニメーションを通して日本の文化に触れた。私の国のはんどの子供たちは、ドラえもん、デジモン、ポケモン、カードキャプターさくら、スラムダンク、幽遊白書などを見て育った。これらのアニメの物語は、私たちが子供の頃を思い出すときによく出てくる。高校の頃、私たちは忍者のナルト、海賊のルフィ、鍊金術師のエドワードとアルフォンスの兄弟、バスケットボール選手の桜木花道などの仲間たちの冒険や願望、物語を追いかけた。さらに、大学では、友人と一緒に嵐やAsian Kung Fu Generation、One Ok Rock、L'Arc ~en~ Cielなどのオルタナティヴ・ロックをよく聴いた。そして毎年、日本語や日本文化の普及を目的とした団体が主催する映画祭を楽しみにしていた。

これらの日本のアニメやドラマを見たり、音楽を聴いたりして、友情や家族の大切さを学び、日本の伝統や文化、季節の色の美しさを堪能し、日本のおいしい料理を味わいたいと思った。

日本の文化は私の成長と発展の大部分を占めていると言える。しかし、それが個人的にも専門的にも自身をさらに成長させる機会を与えてくれるとは思ってもいなかった。

2年前、私は福井大学の推薦により、文部科学省国費外国人留学生に応募する機会を得た。福井大学は、学習と専門能力開発に対する協調的な探究アプローチで知られており、私は連合教職開発研究科教職開発専攻の学校改革マネジメントコースに進学することになった。研究を進めていくうちに、日本の教育システムのトレードマークである「授業研究」と「協働型の探究型学習」に親しみ、興味を持つようになった。

私は2年間、福井大学の附属義務教育学校でインターンをしている。インターンシッププログラムの一環として、さまざまなクラスを参観し、5年生と6年生の英語のクラスを教えた。また、私はいくつかの学校を訪問して英語を共同で教えるように招待され、自分の国と日本での経験について共有し、日本の児童・生徒と交流する機会を与えてもらった。

私のコースでは、日本の初等教育に身を置き、日本の児童・生徒が教室内でどのように学ぶかを体験することができる。先生方は、児童・生徒の学習過程で積極的な役割を果たし、さまざまな学習体験をナビゲートし、試行錯誤(trial-and-error)や探究のプロセスを通して学ぶことを可能にしている。児童・生徒がクラスメートと意見を交換し、一緒に新しいことを学んでいる姿はいつも嬉しいものである。

フィリピンの学校と比較して、日本の学校では、児童・生

徒が自分に関係する活動計画、管理、実施に関与することが保証されている。また、自分の教室でさまざまな役割を担い、他学年生と一緒に委員会やクラブに参加する。

日本の教育システムのもう一つの重要な側面は、教師同士が定期的に集まり、議論し、共有し、自らの実践や経験を振り返るというコラボレーションである。私は月間カンファレンスで、日本の先生や教育者に会い、話を聞くことができ、彼らの経験を聞くことで、彼らが学校で遭遇したさまざまな現実を知ることができた。私自身の仕事や自国の教育システムの状況について考えるきっかけにもなった。

福井大学の留学生として私は他国の学生と出会い、彼らと一緒に日本の生活、伝統、文化を探求し、そして体験し、素晴らしい思い出を作ることができた。これまでに、東尋坊や雄島、福井県立恐竜博物館やスキージャム勝山、永平寺の風景、大野の紅葉、足羽川の桜など、福井の人気の場所にも訪れた。

福井は日本の他の有名な地域（京都、大阪、金沢など）とは違うかもしれないけれど、静かでのんびりとした生活に感謝し、生きることを教えてくれた。私は自分の息抜きの時間として、福井の街中を自転車で回るのが好きである。また、公園もたくさんあるので、立ち寄ることもできる。日本食もおいしくて、毎週のように寿司やラーメン、餃子などを食べている。過去には県内で田植えにも参加できた。

私は福井大学での滞在を決して忘れない。スタッフ、特に国際課やクリニックのスタッフは、協力的で親身になってくれた。おかげで安心して快適な生活を送り、研究に励むことができている。日本語を知らないことは確かに問題だが、日本語教師の指導のもと、ゆっくりと日本語を学んでいて、現在は語学センターの桑原准教授の翻訳プロジェクトに参加し、日本の小学校の教科書をタガログ語や英語に翻訳している。

福井や日本で学んだことを、フィリピンの友達や教育者たちと共有するのが待ちきれない。もうすぐ帰国するが、日本、特に福井はいつも私の心の中で特別な場所だ。



公益財団法人福井県グローバル人材基金

公益財団法人福井県グローバル人材基金は、国際社会で活躍できるグローバルな人材の育成に寄与することを目的として、県内大学生・県出身大学生の長期海外留学に対する奨学金貸与、県内におけるビジネス外国語講座や海外ビジネス講座等の受講・開催に対する支援、外国人留学生の日本語能力診断試験受験、就職活動に対する支援などを行っています。

海外留学の支援

福井県内の大学生、大学院生等または福井県出身の県外大学生、大学院生等の海外留学に対して、渡航費や居住費として奨学金の貸与を行っています。

原則は卒業後に一括または分割で返還する必要がありますが、卒業後に福井県内に本社を持つ企業等に就職して3年間就業を継続した場合は返還免除となります。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン留学に対する支援も実施しています。

海外ビジネスに関する教育等への支援

福井県内の大学生、大学院生等や福井県内に本社を持つ企業等に勤務する社会人を対象として、福井県内の高等教育機関や公的団体が開催するビジネス外国語講座の受講支援、海外ビジネス講座（海外視察を伴う研修も含む。）を受講する際の受講料に対する支援を行っています。

また、海外ビジネス講座を開催する福井県内の高等教育機関や公的団体を対象として、講師謝金や会場使用料などの開催費用に対する支援を行っています。

県内の外国人留学生に対する支援

福井県内の大学、大学院等に在籍（交換留学含む。）する外国人留学生を対象として、日本語能力診断試験の受験に対する支援を行っています。（日本語能力試験N1：5千円、N2～N5：3千円、BJT日本語能力テスト各級：3千円
※原則年1回）

また、就活セミナー、カウンセリング、県内企業見学なども実施しています。

外国人留学生のための 就活セミナー

① 12/10（金） 11:00～12:30 就活基礎	② 12/17（金） 11:00～12:30 自己PR/ES対策	③ 12/20（月） 15:15～16:45 面接対策 (面接テクニック)
④ 12/23（木） 15:15～16:45 ※面接予定場合のみ 17:15まで延長了 模擬面接 1回目	⑤ 1/14（金） 11:00～12:30 ※面接予定場合のみ 13:00まで延長了 模擬面接 2回目	

参加費 無料 **講師** 就活サイト「グローバルリーダー」運営事務局

開催方法 オンライン（Zoom） **申込方法** ○/○までに、〇〇大学〇〇課までメールで申込
メールアドレス: 〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇
【件名】: オンライン就活セミナー開催
【本文】: ①学年、学年
②氏名
③受講したい日　※　※全ての日でも、一部の日でもOKです。
※女性は、入塾が多いときは調整します。

対象 県内の外国人留学生
(全学年OK)
(交換留学OK)

主催 公益財団法人 福井県グローバル人材基金
福井県立大学松岡兼定島4-1-1 (福井県立大学 国際・留学支援課内) 駐日・駐外

支援内容や申請方法については、下記までお問い合わせください。

公益財団法人福井県グローバル人材基金 事務局

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1 (福井県立大学国際・留学支援課内)

【HP】 <https://fukui-global-fund.jp/> 【Tel】 0776-61-6000 【Mail】 asianfund@fpu.ac.jp

グリフィスのクリスマス

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金理事長
福井大学国際地域学部特任教授
細谷 龍平



1870年、ラトガース大学を卒業後、将来を誓い合ったエレン・ジョンソンとの結婚に備え、牧師の道を歩み始めようとしていたウィリアム・グリフィスの元に突然日本の福井藩からの手紙が届きました。明治維新後の教育の近代化を推進するために藩校明新館の科学教師として来て欲しいとの招待でした。グリフィスにとって、この日本行きは家族とエレンとの別れを意味していましたが、神への使命と捉えて苦渋の決断を受け、1871年3月、福井に到着しました。

福井でのわずか11ヶ月の滞在は、グリフィスにとっても福井にとっても大きな意味を持つことになりました。帰米後、生涯にわたって日本を紹介し続けたグリフィスは、その代表的著作「ミカドズ・エンパイア」で、日本の歴史と、福井での経験も大きく取り上げています。また滞在中付け続けた日記と、60何通かの手紙では、一人称で当時の福井を見た日本の本当の姿を描いたほか、青年らしい情熱と個人的な悩みも綴っています。



150年前の1871年、グリフィスは、8月には外国人として初めて白山に登頂、9月には彼のために藩が建ててくれた家(今から5年前にグリフィス記念館として再建)が完成して引っ越し、10月初めには福井で廢藩置県の歴史的な場面に立ち合います。10月半ばからは福井の「家族」(彼の家に住み込んでいた明新館の生徒たち)と、日曜日に新約聖書のマタイ伝を読み始めます。その生徒たちは福井に九つある仏教の宗派の五つを代表していると日記に書いています。11月にはさらにマタイ伝を読み進み、イエスが「心の貧しい人たち(謙遜な人たちの意)は幸いである。天国は彼らのものである」と述べた「山上の垂訓」を「家族」と一緒に繰り返して読みます。これはキリスト教の布教としてではなく、福井で日本人とその宗教文化に深く触れたグリフィスが、宗教の違いを超えた人間の物語として「家族」と分かち合ったのだと思われます。12月10日にはイエスの誕生を祝う讃美歌103番と104番を一緒に歌います。そして12月24日のクリスマスイヴ、グリフィスは生徒と使用人の家族に、食堂を緑の枝などで飾り、暖炉に足袋をかけておくように言います。当時はまだ福井ではストッキングが手に入らず、足袋で代用することにしたのです。皆を寝かしつけたあと、深夜の1時までかかって足袋に贈り物を詰め、1時15分に寝ました。

翌朝は快晴で、おそらく雪が積もったホワイトクリスマス

だったと思われます。起きた少年たちは足袋の中身を見て喜びはしゃぎました。午後には明新館の生徒と先生、役人たちが総勢60-70人招かれてこのオープンハウスのパーティーに



やってきます。珍しい飾り物や、振舞われたココアとコーヒーを皆大層楽しみました。町にはまだキリスト教禁止の高札がかかっている時代でしたし、このようにおおっぴらなクリスマスパーティーが日本で行われたことが文献で裏付けられているのはこれが最初です。グリフィスが福井では特別な存在だったこともあったでしょう。しかしながら本質的には、このクリスマスパーティーはキリスト教という特定の宗教の催しではなく、民俗宗教の違いを超えて、人々が冬の厳しい時期に家族の絆を確かめ合い、困っている人を助けること、言い換えれば幸せを分かち合うという、原初的な人類共通の歳事に通じていることが皆の心に響いたのではないかと考えています。



グリフィスは、1872年1月に福井を去る時、次の辞去の句を残しました。「さようなら福井、あなたは祝福の井戸であった。というのは私はあなたの中に真理を発見したからである。」このグリフィスが言った真理とは何だったのでしょうか。色々に解釈することができます。グリフィスが福井での11ヶ月間に体験した様々なことが、公的なことも、私的なことも込められていたと思われます。中でも、グリフィスは、当時の欧米とは何もかもが一見非常に異なっていた日本の福井で、異文化を理解することは、実は人間性はどこでも同じであること、つまりより本質的には同文化であることへの理解が最も大事だと悟りました。それぞれの文化の形は違っていても人の気持ちは万国共通である、その分かりきったことの中にこそ目新しさがあるのだと本人は述べています。福井県に来ておられる外国人留学生の皆様には是非この地域の先人ウィリアム・グリフィスの150前の思いを知っていただきたく、この一文を寄せさせてもらいました。

来る2021年12月25日に、当基金ではグリフィスの時から150年後に、「福井で見るサンタの夢」と題し、グリフィス記念館で日本初のクリスマスパーティーを再現します。コロナのため当日は入場していただけませんが、YouTubeでライブ配信します。次のQRコードのサイトで関連情報を掲載します。

オンラインでのご来訪をお待ちしています！



活動スナップ



書き初め体験（ふくい市民国際交流協会）



浴衣で養浩館ウォーク（ふくい市民国際交流協会）



和菓子作り体験（ふくい市民国際交流協会）



おしゃべりサロン「ベトナム」（福井県国際交流嶺南センター）

ふくい外国人コミュニティリーダー委嘱式
(福井県国際交流協会)リモート BUZZ CAFE
(福井県国際交流協会)

災害時における外国人支援セミナー（福井県国際交流協会）



福井国際フェスティバル（福井県国際交流協会）



日本語常設講座 2020（福井県国際交流協会）



バスツアー（福井県立大学）



留学生歓迎会（福井県立大学）



FAA 若狭町現地調査 (福井工業大学)

陶芸体験 (福井工業大学)

イングリッシュウォーキングツアー (福井工業大学)



そば打ち体験 (福井工業大学)

紙すき体験 (福井工業大学)

若狭町海岸清掃ボランティア (福井工業大学)



新入留学生歓迎会 (福井工業大学)

アイススケート体験 (福井工業大学)



絵付け体験 (福井大学)

足羽高等学校での国際理解講座 (福井大学)



足羽高等学校での国際理解講座 2 (福井大学)

和紙つくり体験 (福井大学)

地域交流状況 留学生と地域との交流状況（令和2年10月～令和3年9月）

事業名	主催者等	開催期間
リモートBUZZ CAFÉ 2020	公益財団法人福井県国際交流協会	令和2年10月8日、11月12日、12月10日、令和3年1月14日
日本語常設講座	公益財団法人福井県国際交流協会	令和2年10月～令和3年2月
しゃべり場	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	令和2年10月24日、11月15日、11月28日、12月13日、令和3年1月23日、2月27日、3月27日、4月11日、5月9日、9月12日、9月25日
おしゃべりサロン「ペトナム」	福井県国際交流嶺南センター	10月24日、11月28日
福井国際フェスティバル 2020	公益財団法人福井県国際交流協会	10月25日
留学生歓迎会	福井県立大学(World Café)	11月4日
インバウンド向けコンテンツの開発	若狭町 観光未来創造課	11月8日、9日
外国人留学生のための就活セミナー1～4	福井県グローバル人材基金	11月20日、11月27日、12月5日、12月12日
国際理解講座	福井県立足羽高等学校	11月30日
外国人旅行環境調査	福井県交流文化部観光誘客課	令和2年12月～令和3年3月中旬
外国人留学生バスツアー1	福井県立大学	12月14日
クリスマスイベント	福井県立大学(World Café)	12月16日
Fukuiレポーターズ	福井県産業労働部国際経済課	12月23日
通訳ボランティア派遣	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	1月18日、19日
留学生による外国人旅行環境改善事業	福井県	2月1日～2月28日
日本文化体験「書き初め」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	2月21日
福井県友好大使	福井県産業労働部国際経済課	3月1日
災害時における外国人支援セミナー	公益財団法人福井県国際交流協会	3月6日
リモートBUZZ CAFÉ 2021	公益財団法人福井県国際交流協会	5月13日、7月8日、9月9日
外国文化紹介 外国人講師派遣	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	5月19日
若狭町食見海岸での「みんなで環境美化！海域公園クリーンアップ」清掃ボランティア活動	福井県海浜自然センター	6月12日
留学生歓迎会	福井県立大学(World Café)	6月14日
若狭町常神地区における地元住民と清掃ボランティア活動	西浦地域づくり協議会	6月27日
外国人留学生のための県内企業会社訪問1～4	福井県立大学	7月29日、8月23日、9月6日、9月15日
外国文化紹介 外国人講師派遣	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	8月4日
外国人留学生バスツアー2	福井県立大学	8月9日
World Happiness Forum in Echizen (高校生国際会議)	福井県立武生東高等学校	9月11日、9月12日
令和3年度外国人が暮らしやすい環境づくり事業 ふくい外国人コミュニティリーダー 委嘱式	公益財団法人福井県国際交流協会	9月25日
日本文化体験「浴衣で養浩館ウォーク」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	9月25日、9月26日

福井県国際交流協会の取組みについて

公益財団法人福井県国際交流協会 理事長 八木 誠一郎



平成元年の当協会設立時には約5,500人であった県内の外国人住民数は、令和2年末には、2.8倍以上の約15,700人となりました。ここ10年、定住者が約2.3倍、技能実習生が約1.5倍など、滞在の長期化、定住化の傾向にあり、グローバル化は着実に進展しています。

当協会では、多国籍化、多様化する県内在住の外国人にとって暮らしやすい環境を整備するため、さまざまな取組みを行っていますので、いくつか紹介します。

まずは、外国人への情報提供や相談等への対応に関して、令和元年度から「ふくい外国人相談センター」を開設し、窓口機能の強化を図りました。現在、テレビ電話通訳と三者電話通訳サービスにより、16言語で生活・就労等に関する情報提供や相談への対応を行っています。

さらに、当協会のホームページに自動翻訳システムを導入し、これまでの4言語から12言語に増やして、多言語での迅速な情報提供を行うようにしました。

また、これまで福井県国際交流会館と国際交流嶺南センターで行っていた無料法律相談会と行政書士相談会に加え、遠隔地に在住する外国人からの法律に関わる相談に対応するため、弁護士の協力を得てリモート無料相談会を開催し、利用しやすくしています。

令和2年度からは、県が委嘱する外国人コミュニティリーダーへの研修会等を行っています。外国人コミュニティリーダーには、ネットワークを生かして、県内の外国人コミュニティに母国語で災害・生活情報を届けていただくほか、地域住民とのコミュニケーションの橋渡しや、災害時の自助・共助の担い手として活躍いただくことを期待しており、これまでにも大雨に関することや、新型コロナウイルスのワクチン接種に関するなどの情報発信に御協力をいただいています。現在のリーダーは、令和2年度からの継続者を含め、16か国・地域、52名となっており、今年度委嘱された方の中には、留学生も含まれています。今年の1月の大雪の際には、コミュニティリーダーが声かけて、在住外国人の皆さんのが地域の小学校の通学路の除雪を行い、地域住民に感謝されました。このような活動を通して、今後ますます住民と外国人との相互理解が進むことが期待されます。

留学生の県内企業への就職支援としては、海外展開のため外国人留学生の採用等を計画している県内企業に対し、有用な情報等を提供する「セミナー」や企業と留学生の交流の機会となる「合同企業説明会」、「個別企業訪問」等を実施しています。

また、「福井県就職支援金」(住居費の一部を負担)の支給、県内企業に就職した留学生に対して、日本語レベルの向上による企業への定着を促進するため、オンラインの「ビジネス日本語講座」の受講助成などの支援を行っています。

昨年度は新型コロナ感染予防のため、セミナーや企業説明会など一部はやむなく中止しましたが、状況を見ながら、再開していきたいと考えております。

近年、地震や大雨などの自然災害が増えていることもあり、外国人住民が安心、安全に暮らすための取組みも行っています。

令和元年度からは、大規模災害時に備え北陸3県の広域的な相互支援体制の強化を図るための災害時外国人支援ボランティア研修会を北陸3県持ち回りで開催しています。

令和2年3月には多言語による情報発信と被災市町の外国人住民を支援する体制を整えるため、「福井県災害多言語支援センターの設置および運営に関する協定」を福井県と締結しました。今後、大規模災害時には「福井県多言語支援センター」を速やかに立ち上げ、適切な対応ができるよう定期的に訓練を実施していきます。

その他、県民と外国人住民が気軽に国際交流・理解できる取組みとして、令和2年度から、CIR(国際交流員)と英語を通して気軽に交流できる場を設けています。コロナ禍ということもありオンラインで開催しておりますが、中には来福できない海外在住の留学生も含まれるなど、楽しく参加されていたようです。

毎年、国際交流団体やボランティアとともに実施している「福井国際フェスティバル」はコロナ禍で規模を縮小しましたが、今年度は天候にも恵まれ、約1,500名の来場者でございました。また、留学生等の外国人をゲストに迎えて気軽に交流する「おしゃべりサロン」なども実施しています。このようなイベントを通して、気軽に交流の機会を持ついただけたらと思います。

私たちが目指すところは、このような事業を通して、異なる文化的背景を持つ人々が共に生きる「多文化共生社会」の実現です。

今後も、地域の国際化の推進および関係機関・団体との連携を図りながら、留学生の皆さんを含め誰もが住みやすい「多文化共生社会」の実現に向けた地域づくりに取り組んでまいりますので、皆様方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。



フェスティバル 2021

福井県留学生交流推進協議会の活動

令和2年度福井県留学生交流推進協議会定例総会が、会長の上田孝典福井大学長の進行のもと、推進協議会会員の出席を得て、令和2年12月10日（木）、ウェブ会議（福井大学文京キャンパスアカデミーホール小会議室）で開催されました。

総会は、会長の挨拶の後、会長を議長に選出し議事に入りました。主な内容は次のとおりです。

令和元年度活動報告

上田会長から次のような活動報告および決算報告が行われました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だより2019の発行

令和3年度活動計画

安田会長代行から次のような活動計画が提案され、いずれも異議なく承認されました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だよりの発行
6. 各種団体行事等の後援

議事終了後、福井工業大学 工学部 機械工学科 4年 ガウタム ビベクさん（ネパール）による体験発表が行われました。



福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

巻頭言

留学生の声

交流活動

寄稿

推進協議会

留学生関係資料

福井県留学生交流推進協議会会員名簿

令和3年11月現在

順不同：敬称略

機関等名	長又は代表者	氏名
名古屋出入国在留管理局福井出張所	所長	五藤 武行
福井県	知事	杉本 達治
福井県教育委員会	教育長	豊北 欽一
福井市	市長	東村 新一
福井市教育委員会	教育長	吉川 雄二
福井県市長会	会長	東村 新一
福井県町村会	会長	杉本 博文
○ 福井商工会議所	会頭	八木 誠一郎
		林 正博
福井経済同友会	代表幹事	清川 肇 吉田 真士
福井県経営者協会	会長	前田 征利
(公社)日本青年会議所北陸信越地区 福井ブロック協議会	会長	見谷 賴貞
福井県農業協同組合中央会	代表理事長	富田 勇一
福井県経済団体連合会	会長	八木 誠一郎
公益財団法人 福井県国際交流協会	理事長	八木 誠一郎
NPO 法人福井県日本中国友好協会	会長	酒井 哲夫
福井日伊英米交流協会	会長	八木 誠一郎
福井県日韓親善協会	会長	八木 誠一郎
(一社)福井県医師会	会長	池端 幸彦
福井ロータリークラブ	会長	山内 鴻之祐
ライオンズクラブ国際協会334-D地区	地区ガバナー	戸祭 宏樹
福井県連合婦人会	会長	田村 洋子
福井県連合青年団	団長	岡井 里紗
国際ソロブチミスト福井	会長	藤井 正美
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	会長	青池 浩生
○ 福井県立大学	学長	進士 五十八
福井工業大学	学長	掛下 知行
仁愛大学	学長	田代 俊孝
仁愛女子短期大学	学長	禿 正宣
敦賀市立看護大学	学長	交野 好子
福井医療大学	学長	山口 明夫
福井工業高等専門学校	校長	田村 隆弘
学校法人大原学園福井校	校長	大原 陵路
○ 福井大学	学長	上田 孝典

○印：会長　○印：副会長

機関等名	官職	氏名
福井県	産業労働部 国際経済課長	湯川 直
福井市	商工労働部観光文化局 おもてなし観光推進課 国際室長	馬來田 善資
福井商工会議所	地域事業・観光振興課長	岩本 拓馬
公益財団法人福井県国際交流協会	専務理事	五十嵐 昌子
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	事務局長	宇野 義規
※ 福井県立大学	教育・学生支援部 国際・留学支援課長	柴田 弥生
福井工業大学	国際交流課長	中谷 篤
仁愛大学	学生支援センター 次長	出村 友寛
仁愛女子短期大学	総合学務センター 学び支援課長	浅井 正信
敦賀市立看護大学	事務局長	村上 みち子
福井医療大学	事務課事務室長	岩永 和也
※ 福井工業高等専門学校	学生課長	出口 雅弘
学校法人大原学園福井校	総務課課長	由井 正之
○ 福井大学	理事(教育、評価担当) / 副学長	安田 年博
	副学長(国際担当)	明石 行生
	国際センター 副センター長	虎尾 憲史
	学務部長	青木 直美

○印：委員長

※印：監事

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

令和3年10月1日現在

1. 経費別留学生数

機関名 区分	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井 医療大学	福井 工業高等 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	福井情報 ITクリエイター 専門学校	福井 ホテルトラベル 専門学校	合計	
国費	17								4				21	
マレーシア 政府派遣	31								2				33	
その他 政府派遣	6								3				9	
国際協力機構 (JICA)													0	
私費	86	24	107								3		11	231
内 (交換留学生)	(0)	(1)	(0)							(0)		(0)	(1)	
合計	140	24	107	0	0	0	0	9	0	3	0	11	294	

2. 国別留学生数

機関名 国名	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井 医療大学	福井 工業高等 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	福井情報 ITクリエイター 専門学校	福井 ホテルトラベル 専門学校	合計											
ネパール												2	(1)	2	(1)									
バングラデシュ	3	(0)		1	(0)									4	(0)									
ミャンマー				1	(0)									1	(0)									
タイ	4	(1)		8	(4)									12	(5)									
マレーシア	44	(19)	2	(2)	11	(2)				2	(1)			59	(24)									
インドネシア	4	(1)	1	(0)	6	(3)								11	(4)									
フィリピン	1	(0)												1	(0)									
韓国	5	(0)		1	(0)									6	(0)									
モンゴル	2	(2)		2	(1)				5	(2)				9	(5)									
ベトナム	1	(1)	11	(6)	36	(17)					3	(3)	4	(1)	55	(28)								
中国	56	(10)	9	(4)	39	(7)							5	(1)	109	(22)								
カンボジア	7	(3)							1	(0)				8	(3)									
ブータン	1	(0)												1	(0)									
ラオス									1	(0)				1	(0)									
台湾	3	(2)	1	(0)	1	(0)								5	(2)									
エジプト	1	(1)												1	(1)									
カメルーン	1	(0)												1	(0)									
コンゴ民主共和国	1	(0)												1	(0)									
ナミビア	1	(0)												1	(0)									
メキシコ	1	(0)												1	(0)									
フランス	1	(0)												1	(0)									
ロシア	1	(0)												1	(0)									
ウズベキスタン	1	(0)			1	(0)								2	(0)									
トルクメニスタン	1	(0)												1	(0)									
合計	140	(40)	24	(12)	107	(34)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	9	(3)	0	(0)	3	(3)	0	(0)	11	(3)	294	(95)

() 内の数字は、女子数で内数

3. 住居形態別留学生数

機関名 区分	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井 医療大学	福井 工業高等 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	福井情報 ITクリエイター 専門学校	福井 ホテルラベル 専門学校	合計
大学留学生会館等	15	(5)	1	(1)									16 (6)
学生寮	17	(4)		1	(0)				9 (3)				27 (7)
大学等借上宿舎	0	(0)											0 (0)
公営住宅	1	(1)											1 (1)
民間企業の留学生寮	0	(0)											0 (0)
アパート・マンション	70	(21)	21	(11)	101	(33)				2 (2)		11 (3)	205 (70)
借家	2	(0)		4	(0)								6 (0)
下宿	0	(0)								1 (1)			1 (1)
その他（※）	35	(9)	2	(0)	1	(1)							38 (10)
合計	140	(40)	24	(12)	107	(34)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	294 (95)

*渡日遅れにより住居形態が未定の留学生を含む。

() 内の数字は、女子数で内数

4. 国別・経費別・在籍別留学生数

区分 国名	国費留学生					外国政府派遣留学生				私費留学生					JICA	合計			
	学部	修士	博士	教職修士 (専門職)	研究生	科目等修生	学部	修士	博士	研究生	学部	修士	博士	修士 (専門職)	特別研究学生 研究生	特別講習学生 科目等修生	専門課程	修士	
ネパール																2		2	
バングラデシュ			2								1	1						4	
ミャンマー										1								1	
タイ			1		1					7	1	1		1				12	
マレーシア					2	39				14	3		1					59	
インドネシア		1								6	2	2						11	
フィリピン				1														1	
韓国										6								6	
モンゴル	2				1	3				2		1						9	
ベトナム										46	1	1				7		55	
中国	1									48	35	16	1	3		5		109	
カンボジア	2				1					1	4							8	
ブータン						1												1	
ラオス	1																	1	
台湾										3	1			1				5	
エジプト												1						1	
カメルーン		1																1	
コンゴ民主共和国										1								1	
ナミビア				1														1	
メキシコ					1													1	
フランス												1						1	
ロシア						1												1	
ウズベキスタン										1		1						2	
トルクメニスタン										1								1	
合計	6	2	3	1	8	1	42	0	0	0	138	48	24	2	4	1	14	0	294
				21				42						231			0		

5. 外国人留学生の奨学金受給状況（令和3年度）

奨学金等名称 国名	マレーシア	インド ネシア	ベトナム	中国	カンボジア	台湾	エジプト	トルクメ ニスタン	ウズベ キスタン	コンゴ 民主共和国	合計
(独) 日本学生支援機構 文部科学省私費外国人留学生学習奨励費			6								6
(独) 日本学生支援機構 文部科学省私費外国人留学生学習奨励費 (特別追加採用)				4							4
(公財) ロータリー米山記念奨学会 ロータリー米山記念奨学金	3	1	1	1	2						8
(公財) 江守アジア留学生育英会 外国人私費留学生奨学金			2	8		1					11
(公財) 三谷育英会 外国人留学生奨学金				1		1	1	1	1		5
(公財) 日揮・実吉奨学会				1							1
(公財) 日本国際教育支援協会 三菱ペトナム原子力奨学金			1								1
(一財) あしなが育英会										1	1
(公財) 安田奨学財団			1								1
(公財) 前田工織財団			1								1
(公財) SGH 財団			1								1
(公財) 橋谷奨学会		1									1
(公財) 伊藤国際教育交流財団				1							1
(公財) 日本国際教育支援協会 JEES 留学生奨学金	1		1								2
(公財) 岩谷直治記念財団			1								1
(公益信託) 久保田農基金				1							1
合計	4	2	15	15	4	2	1	1	1	1	46

編集・発行
福井県留学生交流推進協議会事務局

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号
TEL 0776-27-8439 FAX 0776-27-9715
(福井大学学務部国際課内)
発行:令和3年12月